

【概要】

民間住宅ローンの貸出動向調査(2016年度)

I 調査の概要

民間住宅ローンを取り扱う金融機関(330機関)に対し、住宅ローンの貸出実績、取組姿勢、営業戦略、審査、リスク、証券化の動向などに関するアンケート調査を行い、その結果を取りまとめた資料です。

本調査の調査時期は2016年9月1日～10月30日、回収数は307件(回収率:93.0%)です。

なお、本調査における住宅ローンには、住宅金融支援機構の【フラット35】は含まれません。

II 調査結果の主なポイント

※< >は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 新規貸出額の金利タイプ別構成比は、「変動金利型」が増加

<p. 4>

- ・ 2015年度の新規貸出額の金利タイプ別構成比は、「変動金利型」が前回調査から7.1%ポイント増加して61.8%(前回調査:54.7%)となり、他の金利タイプはほとんどが減少した。なお、今後重視する商品(金利タイプ)における「全期間固定型」の割合は前年度調査との比較では最も増加した。<p. 20>

2 住宅ローンの積極化方策は、「借換案件の増強」が増加 <p. 17>

- ・ 住宅ローンを積極化する方策は、「借換案件の増強」の割合が前回調査から5.0%ポイント増加して59.8%(前回調査:54.8%)となった。

3 取扱検討中の商品は、「リバースモーゲージ」が最多 <p. 24>

- ・ 取扱検討中の商品は、「リバースモーゲージ」が最多(57.0%)となった。

4 今後重視する商品は、「新築向け」が減少し、「中古住宅向け」、「リフォームローン」が増加 <p. 27>

- ・ 今後重視する商品では、「新築向け」の割合が前回調査から11.1%ポイント減少して76.3%(前回調査:87.4%)となった。
- ・ 「中古住宅向け」、「リフォームローン」はそれぞれ5.2%ポイント、3.8%ポイント増加し、63.7%(前回調査:58.5%)、62.3%(前回調査:58.5%)となった。